

ヒ素試験紙 (MN90762P)

取扱説明書

国内総発売元

株式会社 アイシス

大阪市東淀川区西淡路1-1-36

TEL:06-6325-1406 FAX:06-6328-8995

ご使用前に必ず熟読いただき正しく使用してください。不注意/誤った使用方法・保管方法による不具合、カタログおよび下記《安全上の注意》を含めた各種注意事項を順守されていない場合は責任および保証の一切を負いません。

《安全上の注意》

試験紙には 0.9~3.6%の臭化水銀(II)毒物が含まれています。吸引や誤飲はもちろんのこと肌、目や髪等に付着すると人体に重大な悪影響を及ぼします。ドラフト内等換気の良い場所で使用し、必ず研究用手袋、保護メガネ、白衣やマスク等を装着し、絶対に直接試験紙に触れないでください。また後始末終了までは飲食や喫煙を絶対に行わないでください。

もし吸引や誤飲をした場合は速やかに医師の指示を仰いでください。衣服に付着した場合はすぐ脱いで各自治体の毒劇物に関する条例に従い処分してください。肌や髪に付着した場合は速やかに拭き取り、大量の水で洗い流してください。目に入った場合は数分間入念に水で洗浄し医師の診察を受けてください。コンタクトレンズを装着し、無理なく取り外せる場合は取り外した後に目を洗浄してください。気分が悪くなった場合は決して自己判断せず、医師の診察を受けることを強くお勧めします。

商品保管は必ず管理責任者が施錠管理を行い、子供の手の届く場所で使用及び保管は絶対に行わないでください。

《使用法》

気体のアルシン(AsH_3)検出にのみ使用可能です。溶液中のヒ素を検出する場合は気体のアルシンを発生させ、溶液に直接浸してのご使用はできません。またアルシンは有害な可燃性気体のため、換気の良い場所で取り扱いに十分注意してください。

1. 必要数の試験紙をプラスチックケースから取り出し、直ちに容器の蓋を閉めます。
2. 別途準備した試験管に pH6.5~7.5 に調整した 5mL のサンプル溶液を入れ、耳かき 1 杯の亜鉛と 5 滴の 1mol/L 塩酸溶液を加えます。
3. 速やかに試験管の上に取り出した試験紙を掲げ、発生した気体に曝します。この際溶液が試験紙に触れないようにします。
4. 時々試験管を静かに振りながら換気の良い場所で 10 分間曝露を続けます。
5. アルシン(AsH_3)の存在で白色試験紙は濃度に応じて黄色から茶色に変色します。

※検出限界：0.5 μg の AsH_3 または 0.1ppm の $\text{As}^{3+}/\text{As}^{5+}$ (5mL 溶液の場合)

《妨害》

硫化水素(H_2S)も同様に黄色に変色します。酢酸鉛を含浸させた綿棒を溶液に浸し除去します。

《後始末》

検出/測定が終了したサンプル溶液が入った試験管等は十分に洗浄・乾燥させてから次の検出/測定に望みます。試験紙や廃液は絶対に下水へ流さず、各自治体の条例に従い廃棄してください。

《保管》

日光および高温多湿に晒さず乾燥した+30℃以下の冷暗場所に保管し、開封後は使用期限に関わらず速やかに使用してください。